

事務事業名	新エネルギー推進リーディング事業		会計	一般会計	実施区分	継続
			事業種別	政策	開始	20 終了
H29作成課等名	環境モデル都市推進課	H29係等名	地域エネルギー計画係	H28担当課等名	環境モデル都市推進課	
基本計画上の位置づけ	政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり			
	施策	57	社会の低炭素化の推進			
目的	対象(誰・何を)	地域内に存在する未利用の新エネルギー源			指標名及び単位	28年度数値
	意図(どういう状態にするか)	利用可能になるよう、飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例によって、事業化、組織化、指導等を行う			地域内に存在する未利用の新エネルギー源	未定
	向上させたい上位施策の成果指標	飯田市全体の温室効果ガス排出量				
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画
	成果指標	地域内における水のエネルギー利用箇所数		2	2	2
	定性目標					
事業概要	<p>1 地域住民が主体的に参画する地域エネルギービジネスからの持続可能な地域づくりを行う「分権型エネルギー自治」を推進する。そのモデルとなる小沢川における小水力発電事業化支援について、条例支援による信用補完によって円滑な市場からの資金調達を実現させる事業化支援について、飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会、小水力発電コーディネーターの知見を総動員して実施する。</p> <p>2 将来的なマイクロ水力発電事業の事業化のために、これまで実証を行っている地域や事業者と連携し、実証や現地踏査を通じた事業化、実用化に向けた課題の抽出、その解決方法の検討を引き続き行う。</p> <p>3 りんご並木に設置した風力発電装置は、経年劣化に伴う修繕や維持管理に費用がかかること、発電データ収集の目的を達成できたので、平成27年度において撤去した。</p>					
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標
	1 小沢川小水力市民共同発電事業化に関する検討会の実施 2 千代地区マイクロ水力発電事業化に向けた調査検討会の開催			1 検討会の開催回数 2 調査検討会の開催回数		1 30回 2 82回
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①		7,904	10,598	10,540	0	[28特定財源] (そ)ふるさと寄附金 1,701千円
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他				1,701		
一般財源		7,904	10,598	8,839		
人件費計(千円)②		18,943	18,943	18,943	0	
正規職員所要時間		4,720	4,720	4,720		
臨時職員所要時間		1,920	1,920	1,920		
総事業費①+②		26,847	29,541	29,483	0	
事業内容・目標達成状況の振り返り		小沢川小水力発電事業では、かみむら小水力(株)が上村まちづくり委員会の出資により設立された。また、市が会社の事業化を支援するため、発電設備建設許認可取得に向け必要な調査を行った。マイクロ水力発電に関しては、千代地区、伊賀良井でも事業化に向けた技術的実証を行った。				
改革改善の考え方	①問題点	小沢川小水力発電事業では、事業採算性が見通しができていない。また、マイクロ水力発電については、技術面及び事業化への実証後、事業化の体制を構築していく必要がある。				
	②改革提案	小沢川小水力発電事業の採算性見通しの確保や発電設備建設に必要な許認可取得に向け、市として国・県等関係機関との連絡調整等をはじめとする課題案件について、継続して積極的に支援する。				